

Si-R80brin V02.05 変更内容一覧

□機能追加・改善

No.	項目	追加内容
1	WEB	クリックジャッキング脆弱性問題のワークアラウンド適用。

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V02.00～V02.03	IPsec接続にてIPsec SAとIKE SAの確立が遅い場合がある。
2	V02.00～V02.03	本装置がDHCPサーバとして動作中に配布済IPアドレスに対して端末から“DHCP DECLINE”を受信すると、以後装置再起動までそのIPアドレスを配布しなくなる。
3	V02.00～V02.03	相手装置からSIPのINVITE要求を受信して動的VPN接続を行う場合にSIPセッション確立後、IKEネゴシエーションが行われず、SIPセッションが確立された状態のまま通信不能になる場合がある。
4	V02.00～V02.03	動的VPNのINVITE自動ignore機能において、抑止されるべき動的VPN接続要求(INVITE)が発行される場合がある。
5	V02.00～V02.03	IPsec/IKE接続でkeep connect設定時に装置が再起動することがある。
6	V02.00～V02.03	動的VPNサーバが存在しない環境で次の事象が発生することがある。 ・動的VPN接続に関するremote ap keep設定にてkeep connect適用後、keep offへ変更すると停止すべき動的VPN接続要求(DVPN_ACQUIRE)パケットが不在サーバへ再送され続ける。 ・動的VPN接続に関するremote ap keep設定にてkeep connect適用後、接続(online remoteコマンド)を契機に起動された動的VPN接続要求の再送動作が、その状態で閉塞(offline remoteコマンド)を投入しても止まらない。
7	V02.00～V02.03	remote ip dvpn autoignoreおよびremote ip6 dvpn autoignore設定した接続先からのパケットを大量に受信後、INVITE対象のパケットを受信してもINVITEを送出しないことがある。
8	V02.00～V02.03	PCがftpサーバ時にupdateコマンドによるファーム更新に失敗することがある。
9	V02.00～V02.03	本装置がDHCPクライアントとして動作する環境において、電源投入時の時刻情報自動設定が正常に動作しないことがある。
10	V02.00～V02.03	IPsec/IKE機能を使う運用環境にてshow ike traceコマンドを実行すると装置が再起動する、または、トレース情報の表示がされない場合がある。
11	V02.00～V02.03	IPsec/IKEのAggressive Modeのレスポンスとして動作するとき、PPPoE回線切断時にIPsec SAが解放されないことがある。この事象は、通信等の運用動作への実質影響はなく、表示コマンドで不当な内容が表示される。
12	V02.00～V02.03	IPsec/IKEのNATトラバースルが有効とならない構成において、NATトラバースル定義の変更を行うとIPsec/IKE SAが解放される。ただし、何らかの通信が発生した時点でIPsec SAが再作成されるため、通信は問題なく継続される。
13	V02.00～V02.03	IPsec/IKEの定義において、接続先情報の動的VPNとテンプレート情報の動的VPN定義が同一動的VPN Client定義を参照して運用しているとき、接続先情報の動的VPN定義を変更(datalink typeなど)すると定義重複エラーのシログが出力される。
14	V02.00～V02.03	IPsec/IKEの定義において、接続先情報に動的VPNやAHプロトコルを設定し、かつ、NATトラバースルを有効にすると、不要なNATトラバースル用ポート(4500番)がオープンされる。
15	V02.00～V02.03	IPsec/IKEの定義において、セッション監視を追加して動的構成定義変更したとき、セッション監視の宛先が到達不可の場合にIPsec SAがダウンタイムで解放されないことがある。発生拠点においては、IPsec SA更新時間満了後、VPNセッションの開設やVPN通信が復旧する。本事象は、他の拠点へのVPNセッションの開設やVPN通信に影響を与えることはない。
16	V02.00～V02.03	IPsec/IKEのテンプレート(AAAまたはDVPN)接続で通信中に、同一経路のテンプレート定義を追加すると、それ以降その経路を使ったIPsec/IKE通信ができなくなる場合がある。
17	V02.00～V02.03	IPsec/IKEのエンドポイントアドレスにIPv6を設定した通信環境において、IKEネゴシエーション時にメモリ使用量が増加し続け、5万回以上接続/切断を繰り返すと装置が再起動する場合がある。
18	V02.00～V02.03	動的VPNのremote ap dvpn remotenet、templete dvpn localnetおよびdvpn client localnetの各構成定義コマンドにおいて、アドレスレンジに正当なアドレスを指定してもエラーになることがある。

19	V02.00～V02.03	マルチNAT利用時にフラグメントパケットが正常に転送されない場合がある。
20	V02.00～V02.03	テンプレート情報の動的VPN環境において、IKE共有鍵の設定がdynamic以外の設定になっていても、config設定済のIKE共有鍵ではなく動的VPNサーバから配布された共有鍵が使用される。
21	V02.00～V02.03	テンプレート情報を使用した動的VPN環境にて、次の操作を行うと装置が再起動することがある。 ・VPNセッション確立中の拠点情報(IPsec/IKE接続に影響しない設定情報)を動的設定変更し、その後このVPNセッションを解放・再接続する。
22	V02.00～V02.03	動的VPN接続で通信中にテンプレート定義変更を繰り返すと装置が再起動することがある。 例)template 0 ike proposal 0 encrypt 3des-cbc/aes-cbc-256を繰り返し実施
23	V02.00～V02.03	接続先情報のIPv6動的VPN接続においてremote ip6 vpn構成定義コマンドにてautoignoreを設定時、相手との動的VPNが接続できなくなる。
24	V02.00～V02.03	show tech-supportコマンドを実行すると、出力内容が途中から文字化けして表示されることがある。
25	V02.00～V02.03	diffコマンドでstartup-configとの比較を行うと、差異がないのに差異が表示されたり、場合によっては装置が再起動することがある。
26	V02.00～V02.03	IPsec/IKE接続において、相手装置(Windows XPまたはWindows Vistaなど)よりIPsec/IKE接続の接続と切断を繰り返し行われた時、装置が再起動する場合がある。
27	V02.00～V02.03	接続先監視機能利用時に、疎通可能状態にもかかわらずセッション断が検出される場合がある。
28	V02.00～V02.03	特定ポート番号のパッシブモードのftpデータセッションがIPフィルタで遮断され、ftp通信が失敗することがある。
29	V02.00～V02.03	PPPoE接続時、show trace pppoeコマンドを実行すると装置が再起動する場合がある。
30	V02.00～V02.03	SNMPマネージャーからのifIndexを引数に持つMIBグループMIB取得要求処理時に装置が再起動することがある。
31	V02.00～V02.03	DHCPリレーエージェント機能使用時にlan定義の動的定義変更を実施すると、以降リレー動作を行わなくなる場合がある。
32	V02.00～V02.03	IPv6フラグメント対象のパケットを送信すると装置が再起動することがある。
33	V02.00～V02.03	WEBブラウザにて本装置へアクセスした際に、画面が表示されない場合がある。
34	V02.00～V02.03	装置へtelnet接続できなくなったりコマンド表示が途中で止まり、それ以降、装置にアクセスできなくなることが、ごく稀に発生する。
35	V02.00～V02.03	接続先監視時間設定の動的定義反映による削除を行うと、監視時間が1秒間隔となる。
36	V02.00～V02.03	動的定義変更により、定義変更していないIPsec定義されたremoteインタフェースの状態が、誤って接続状態(connected状態)に遷移してしまう場合がある。
37	V02.00～V02.03	不正なDNSパケット受信時に、装置が無応答状態となった後に再起動することがある。
38	V02.00～V02.03	毎日1回実行するスケジュールコマンド設定時、スケジュールコマンドが実行しないことがある。(具体的には隔日で実施される)
39	V02.00～V02.03	フラグメントされたIPsecパケット(IPv6)受信時にエラーを検出すると、メモリ使用量が増加し続けることがある。
40	V02.00～V02.03	overlap ap経由のLANインタフェースへの送信パケットがARP未解決パケットとして装置内に保留され続ける場合がある。
41	V02.00～V02.03	TCP接続要求受信後に装置が再起動する場合がある。

42	V02.00～V02.03	効率化運用ツールにて構成定義情報更新を行った場合に、運用中の構成定義情報が書き換えられることがある。
43	V02.00～V02.03	updateコマンドが完了しなくなることがある。この状態になると装置へtelnet接続でログインできなくなったり、コンソール接続/ssh接続にてログインできてもコマンド実行が不可となる。
44	V02.00～V02.03	pingコマンドが完了しなくなることがある。
45	V02.00～V02.03	telnet/ssh接続にてコマンド表示時、余分な改行が表示されることがある。
46	V02.00～V02.03	DHCPクライアント機能を有効な状態(装置アドレスがDHCPにより割り当てられる場合)で時刻情報提供サーバを指定すると、装置起動時に時刻情報が自動設定されないことがある。